



重要 アクサ生命とアクサ フィナンシャル生命は 2009 年 10 月 1 日付で合併いたしました。以下の資料は、アクサ ジャパン ホールディング株式会社傘下の生保子会社 2 社(アクサ生命およびアクサ フィナンシャル生命)の 2009 年 4 月 1 日から 9 月 30 日までの業績の合算値を記載しております。

2009 年 11 月 25 日
アクサ生命保険株式会社

アクサ生命、2009 年度上半期(2009 年 4 月 1 日～9 月 30 日)の業績を発表

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO マーク・ピアソン、以下「アクサ生命」と)とアクサ フィナンシャル生命保険株式会社(2009 年 10 月 1 日付でアクサ生命と合併)は、2009 年 11 月 25 日、日本の会計基準に基づく 2009 年度(平成 21 年度)上半期の業績を発表しました。

2009 年度上半期、経済環境は依然として厳しい状況が続いているものの、新契約は安定的に推移しました。新契約(個人保険・個人年金保険)の年換算保険料は、両社の合算で 465 億円(前年同期比 0.7%減)、保有契約(個人保険・個人年金保険)の年換算保険料は 5,711 億円(前年度末比 0.2%減)となりました。

収支面においては、運用環境の回復を反映して大幅な増益となりました。基礎利益は、両社の合算で 224 億円と、前年同期(47 億円)から大幅に増加。中間純利益は 157 億円となりました。

また、アクサ生命は強固な財務基盤を堅持し、有価証券の含み益は、両社の合算で 1,785 億円と、2009 年 3 月末の 646 億円から大幅に増加しました。その結果、ソルベンシー・マージン比率は 1,039.0%と、1,000%台を回復しました。S&P の保険財務力格付けは、AXA グループの強固な財務力を背景として、アクサ フィナンシャル生命との合併後も引き続き「AA」(アウトルック:ネガティブ)* の評価を受けています。

*格付けは 2009 年 11 月 25 日現在

アクサ ジャパン ホールディングおよびアクサ生命の代表取締役社長兼 CEO マーク・ピアソンは、次のようにコメントしています。「今期、運用収益の回復とともに、販売商品の収益性と事業効率の向上に向けた取り組みが奏功して、大幅な増益となった。」さらにピアソンは次のように述べています。「今年 10 月にはアクサ生命とアクサ フィナンシャル生命の合併を成功裡に完了した。これによって当社はより強靱な事業体質を確立するとともに、商品やサービスの幅を広げ、企業価値の向上を図っていく。私たちは、これからもお客さまの期待にお応えし、長期的な信頼関係を築き、選ばれる企業となることを目指していく。」

AXA グループについて

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場、ニューヨーク証券取引所には米国預託株式(ADS)を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは以下までお願いいたします～

アクサ ジャパン ホールディング株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp>